

第1回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

日時：平成29年6月29日（木）

午後1時30分から

場所：弥富市 十四山支所 第4会議室
（十四山支所3階）

○議 事

1.開会

| | |
|-----------------|---|
| 仮議長 (事務局 伊藤) | <ul style="list-style-type: none">・ただ今から、平成29年度第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。・私は危機管理課課長の伊藤である。よろしくお願い申し上げます。・規約第6条第5項に規定する議長が決定するまで、私伊藤が仮議長として会議を進行させていただく。 |
|-----------------|---|

2. 弥富市長挨拶

| | |
|-----------------|--|
| 仮議長 (事務局 伊藤) | <ul style="list-style-type: none">・はじめに、服部弥富市長よりご挨拶をいただく。 |
| 服部市長 | <ul style="list-style-type: none">・平成29年度第1回弥富市地域公共交通活性化協議会の開催にあたり、大変お忙しい中、各委員の皆さま方にはお越しをいただき感謝する。・平素は私ども弥富市の行政に対して、皆さま方それぞれのお立場で大変なご協力とご支援をいただいていることをこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。・ご承知のようにきんちゃんバスは、平成24年4月から本格的な運用を開始させていただき丸5年が経過し、今6年目という状況である。・毎年、各委員の皆さま方には市民の声を聞いていただき、ダイヤの改正等も含め、運行の改善に努めてきた。当初よりお客さんの数も少なくなっていたが、このところ少しずつ増加している傾向にあると思っている。しかしながら、まだまだ当初の目的には達していないことに対しては、私たちの大きな課題でもある。・昨年、海南病院のリニューアルで、バス停をつくっていただき運行してきた。そして、蟹江警察署が今、弥富市の又八に仮移転をいただいている。蟹江警察に対するさまざまな便宜を図っていくなかで運行も開始をしている。・今日の議題である平成28年度決算報告をはじめ、7つの議題がある。どうか忌憚のないご意見をいただきたい。また、29年度最初の協議会でもあるので、新たに委員になられた方も大勢おみえになる。今後ともよろしくお願いする。 |
| 仮議長 | <ul style="list-style-type: none">・本日の会議資料の確認を事務局より願います。 |

| | |
|-----------------|--|
| (事務局 伊藤) | |
| 事務局 (久野) | <p>会議資料の確認をする。</p> <p>事前にお送りした資料として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度第 1 回弥富市地域公共交通活性化協議会 次第 ・資料 1：弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿 ・資料 2：平成 28 年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書 ・資料 3：平成 30 年度地域公共交通確保維持改善計画案 ・資料 4：利用者実態調査について ・資料 5：モニタリング調査について ・資料 6：無料お試し乗車券について ・参考資料：弥富市地域公共交通活性化協議会規約 ・参考資料：平成29年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画及び予算 <p>がある。また、本日机の上に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配席表 ・活発で良い論議ができる会議のために ・法令に基づく協議会と補助金交付要綱に基づく協議会との関係 ・平成 29 年度エコモビ推進表彰候補団体募集 ・フラットファイル <p>をお配りしている。不足はないか。</p> |
| 仮議長 (事務局 伊藤) | <ul style="list-style-type: none"> ・議題に入る前に、皆さまには本日より約2年間地域公共交通活性化協議会の委員としてお世話になる。委員の委嘱状についてはお手元に配布してある。よろしく願います。 ・本日は第1回の会議なので、資料1の委員名簿を基に、各委員のご紹介をさせていただきます。 <p>※新委員の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欠席委員【愛知県バス協会 専務理事 古田 寛 様】 【名古屋タクシー協会 専務理事 多田 直紀 様】 【飛島村総務部長 早川 喜久 様】 |

3.議題

(1) 役員の選任について

| | |
|-----------------|---|
| 仮議長 (事務局 伊藤) | <ul style="list-style-type: none"> ・議題 (1) 役員の選任に入る。 ・会長は協議会規約第6条第2項の規定により、服部市長に願います。 ・副会長、座長、監事については、協議会規約第6条第3項に「副会長、座長及び監事は、委員の中から会長が指名する」と規定されており、会長である服部市長より役員の指名を願います。 |
| 服部市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・会長から指名をすることなので、私から指名させていただきます。 ・副会長は、弥富市副市長 大木委員に願いたい。 ・座長は、豊田都市交通研究所 山崎委員に願いたい。 ・監事については、区長会会長 岡村委員、女性の会代表 伊藤委員に願いたい。 |

| | |
|------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ご指名した委員の方々については、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。 |
| 仮議長 (事務局 伊藤) | <ul style="list-style-type: none"> ・ここより、議長を座長の山崎委員に交代させていただく。よろしくお願ひする。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただ今、議長に指名いただいた公益財団法人豊田都市交通研究所の山崎である。よろしくお願ひ申し上げます。 ・今回新たな2年がスタートした。初めてこの会議に参加される方々も何人かいらっしゃると思う。 ・私が勤めているところは全国的に珍しいが、交通に関して研究している機関である。豊田とあるように豊田市内にある研究所だが、愛知県の認可のもと、公益財団法人を名乗らせていただいている。愛知県内のいろんな自治体のお手伝いをしている。弥富に関しては、10年近く関わらせていただいている。 ・中部のバスに関する運輸行政を司る中部運輸局さんが全国的に見ても先進的なことに積極的に取り組まれている。その中で、学識者を集めてコーディネーター会議を開催しており、私はそのメンバーでもあることから弥富市さんのバスに関わらせていただいている。よろしくお願ひする。 ・それでは、会議を進めさせていただく。 ・議題に入る前に、今回2年の新たな任期が始まり、新しい方々がいらっしゃるので、なぜこの会議があるのか、この会議がどういう位置づけにあるのか、この会議に市民代表の方々が参加する意義について、愛知運輸支局の杉本委員に説明させていただく。よろしくお願ひする。 |
| 杉本委員 (愛知運輸支局) | <ul style="list-style-type: none"> ・活発で良い議論ができる会議のために ・法令に基づく協議会と補助金交付要綱に基づく協議会との関係以上の資料を基に説明 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットを使って説明していただいた。こういった形で会議が設置されているので、弥富の地域公共交通会議がすばらしい会議だと運輸局さんに思っただけのような会にしていきたい。その結果、弥富の公共交通がより良いものになっていくことが望ましいと思う。 |

3.議題

(2) 平成28年度決算報告について

| | |
|-------------|---|
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・議題に入る。議題(2)平成28年度決算報告について、事務局より説明をお願ひする。 |
| 事務局 (久野) | <p>○資料2説明</p> <p>1. 決算書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算について資料2を基にご報告する。 ・まず決算書について、 (歳入について説明) (歳出について説明) ・次に、裏面のバス運行事業費について、委託契約額84,875,400円、運賃収入等が4,985,994円、契約額から運賃収入等を差引いた79,889,406円と |

| | |
|------------------|--|
| | <p>なっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、次ページ飛んで裏面には、これまでの各年度のバス運行経費について整理している。 ・毎年、運行の効率化を図っていることにより運行経費は減少しており、収支率も改善されている。 ・平成28年度は年間利用者が大きく伸び、運賃収入も前年に比べ増加した。 ・以上で、説明を終わる。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・監査結果について、監事の岡村区長会長さんよりご報告いただく。 |
| 監事 (岡村区長会長) | <ul style="list-style-type: none"> ◆監査報告 ・監事より、監査結果についてご報告する。 ・弥富市地域公共交通活性化協議会事務局より提出された平成28年度弥富市地域公共交通活性化協議会収支決算について、諸帳簿及びその証拠書類を監査した結果、いずれも適正に執行され、決算額に誤りはないものと認められることをご報告する。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業・決算報告、監事からの監査報告について、ご意見、ご質問等あればお願いします。 |
| 杉本委員 (愛知運輸支局) | <ul style="list-style-type: none"> ・運賃収入が毎年伸びている。収支率を見ていただくと、支出に対しての収入割合が増えているのは良いことだと思う。若干、5.9%という数値が示すようにまだまだ伸びるところはある。 ・定期券の収入についても徐々に伸びていると思うが、定期券の購入者の購入状況等、対前年とか細かな数値で申し訳ないが、わかれば教えていただきたい。そちらの利用促進につなげていけるような方策も検討いただきたい。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局、お願いします。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・今現在、内訳はもっていないので、次回に出させていただきます。感覚的には定期的に乗っていただく方については、65歳～75歳の方が回数券にしても定期券にしても買っていただくことが多い。75歳以上の方については無料になっている。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。詳細は次回にお示しするというごことをお願いします。 ・資料の最後のページ、きんちゃんバス運行経費の話があって、今杉本さんからもお話があったが、収支率を見ていただくと良くなってきたと言いつつも5.9%。これが事実である。 ・バスを運行するということはすごくお金がかかって赤字は当然で、1割にも満たないぐらいしか収入がないのが現状である。これぐらい行政がお金を使ってバスを運行しているということをぜひ認識していただいて、市民の皆さんに「お金がかかるんだよ」ということをお伝えいただければと思う。特に弥富の場合は、75歳以上は無料である。これは政策としてやっていて、金儲けでバスを走らせているわけではないので仕方のないことである。利用者の多くは無料で乗っていただいている。 |
| 服部市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・決算書の1ページ目だが、大変申し上げにくいことを言わせていただく。歳入において、国庫支出金、国からの補助金がゼロとなっている。これ |

| | |
|-------------|---|
| | は、私どもが公共交通の計画を組む時には国からの補助金を相当あてにしていた。全国でこういったことに対する取り組みが非常に多くなってきた中で、この辺の項目が年々減額になってきている。今のところ、この中には入っていないのか、それとも全くゼロなのか。 |
| 事務局 (久野) | ・現段階の制度上、一度事業者（三重交通）において、お金を引き上げるという形である。ここの欄だと「歳入」「諸収入」の「雑入」の欄、7,432,000円という金額が入ってくる。 |
| 服部市長 | ・7,432,000円が国庫支出金という理解でよろしいか。 |
| 事務局 (久野) | ・そうである。 |
| 山崎議長 | ・この資料を見ると、国は一銭も補助してくれていないのかととられてしまうが、今の仕組みが事業者に補助するという形になっているので見かけ上こうなってしまう。協議会に対して国から直接ではなくて事業者という形である。 ・よろしいか。 ・それでは決算報告に関してご審議いただきたい。平成28年度弥富市地域公共交通活性化協議会の決算に関して、ご承認いただける方は挙手をお願いします。 |
| 委員一同 | (異議なし)《承認》 |
| 山崎議長 | ・全会一致で承認された。 |

3.議題

(3) 平成30年度地域公共交通確保維持改善計画（案）について

| | |
|-------------|--|
| 山崎議長 | ・議題（3）平成30年度地域公共交通確保維持改善計画（案）について、事務局より資料の説明をお願いします。 |
| 事務局 (久野) | ○資料3説明 ・平成30年度地域公共交通確保維持改善計画案について、資料3を基に説明する。 ・一定の要件を満たし、この「地域公共交通確保維持改善計画」に位置づけられた路線については、「地域公共交通確保維持改善事業」の運行補助を受けることが可能となる。 ・地域公共交通確保維持改善計画には、様々な添付様式・資料があるが、ここでは、計画部分として平成30年度から32年度までの3ヵ年計画を提示させて頂いている。 ・なお、確保維持改善計画の計画年度は10月から翌年9月までを1ヵ年としている。 ・まず、「0. 地域公共交通確保維持改善計画の名称」は「弥富市地域公共交通確保維持改善計画」とする。 ・次に「1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性」は「弥富市地域公共交通網形成計画」に基づき、今後も市内バス運行の改善・充実のため、利用者実態調査やモニタリング調査、ニーズに即したダイヤの見 |

| | |
|--|---|
| | <p>直し等を実施し、高齢者等の移動制約者の交通手段を確保していくため、地域公共交通確保維持事業により地域内フィーダー系統のコミュニティバスを運行し、市民生活と地域を支える持続可能な地域内フィーダー系統としてのコミュニティバスを確保・維持していくことが必要としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に「2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果」として、事業の目標では、網形成計画に基づき、2つの目標を掲げている。 ・1つ目は「総合的満足度の向上」として、利用者アンケートにおける満足度のうち「非常に満足」「やや満足」の割合を、平成32年において50.0%を目標としている。 ・2つ目は「1便当たり乗車人員の向上」として、平成32年において、北部ルートで11.8人/便、南部ルートで8.7人/便、東部ルートで9.5人/便を目標としている。 ・また、「事業の効果」としては、満足度及び1便当たり乗車人員数の向上により、コミュニティバスの運行を維持することが可能となり、高齢者等の通院や買い物等の市民の日常生活に必要な移動手段が確保され、高齢者等の外出が促進される。また、市内鉄道との接続により、名古屋方面を始めとした通勤・通学や買い物に対応する公共交通ネットワークを構築することができ、クルマに過度に依存しない社会の構築にも繋がるとしている。 ・次に「3. 地域公共交通確保維持事業に係る目標を達するために行う事業及びその実施主体」について、先ほどの2. でご説明した目標を達成するための事業として、網形成計画を基に記載している。 ・総合的満足度の向上の目標に対しては「サイクル&バスライド駐輪場の設置継続」「乗務員研修の実施」、1便当たり乗車人員の向上に対しては「75歳以上への無料パスカードの配布を継続」「定期券、回数券、シルバーパス等の販売を継続」「健康フェスタや春まつり等、イベントの場を活用したきんちゃんバスの周知活動の展開」「無料お試し乗車券の配布」としている。 ・次に3ページ目「4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者」について、現在の系統の概要や時刻、運行事業者の決定方法について記載している。 ・次に「5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者」は弥富市、「6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称」は、三重交通株式会社となる。 ・次に7～10及び12～15番の項目については、弥富市は「該当なし」となっている。 ・次に、「11. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要」についても所定の様式に従い、別途整理しているが、ここでは説明を割愛させていただく。 ・次に「16. 協議会の開催状況と主な議論」として、平成29補助年度の協 |
|--|---|

| | |
|----------------|--|
| | <p>議会開催状況と、今回の協議会開催について記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に「17. 利用者等の意見の反映」については、協議会構成員に住民又は利用者の代表が参加していることや、利用者アンケートを実施した上で、改善策を検討協議していることを記載している。 ・最後に「18. 協議会メンバーの構成」として本協議会の構成員を記載している。 ・本計画については、現在も運輸支局と記載内容について調整を続けており、この会議の場では概ねの記載内容の確認と、今後、計画提出までの調整を事務局に一任していただきたく、ご審議をお願いする。 ・以上で、説明を終わる。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただ今ご説明いただいた平成30年度地域公共交通確保維持改善計画(案)に関して、ご意見、ご質問等あればお願いします。 |
| 竹川委員 (公募委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・私、弥富市操出という南部の方に住んでいるが、私の所から蟹江駅へ出るのに15～20分、弥富駅へ出るのも15分～20分である。ところが、通勤、通学で名古屋へ出ようとする今のきんちゃんバスだと弥富駅へ行くのに約1時間かかるそうである。1時間かけて電車に乗ろうとすると、早朝に起きることになる。蟹江行きだと隣の飛島公共交通バスがあるのだが、三重交通からバスが出て、200円で乗れるが相当早く蟹江駅まで着く。なぜ、きんちゃんバスだけが南部から1時間もかかるのかという疑問点がある。 ・1バス定員7人～最高で11人の計画がされているが、なぜ利用者が少ないのかというのが気になる。桜、弥生、大藤学区はかなり利用者が多いと聞いているがいかがか。南だけが少ないのか。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局、お願いします。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・どこからだと乗っている方が多いかという話だが、平日南部ルートで多いのが、そぶえ整形外科で乗り降りされる方が基本的に多い。いこいの里まで行かれる方、トレーニングセンター、鍋田公民館、杉本クリニック、そちらの方が乗車人員としては多い。この後に話すが、モニタリング調査等あるので、その資料で正確な数字がわかる。今お話をさせてもらったのは前年の資料が基である。 ・操出から1時間という話であるが…。 |
| 竹川委員 (公募委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・朝、サラリーマンや学生用に途中下車なしの直接便をしないと利用者が出ないのか。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・直接便を検討したことがある。時間を三重交通にもお願いして計ってもらった。主要箇所2～3ヶ所しか停まらないもの、完全直通の場合、今の現行として考えた時に、完全直通しても10分変わらない。理由としてはバスは法定速度を守らないといけない。バス停でいないところは通り過ぎるが、バス停で停まってもそんなに長い時間停まらないので、時間的にダイヤとして載せようと思うと10分も変わらないと聞いている。1台、まるっきり直通のバスを出すと、例えば新しいバスを買って年間約1,500万円、市の負担が増えるという状況になっている。 |

| | |
|------------------|--|
| 竹川委員 (公募委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・買わないとできないのか。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・そうである。結局、1台増やすということである。運転手が必要となるし、コミュニティバスとして運行しようとしたら、今だとノンステップという条件がついてくる。1年間に支出する金額は約1,500万円近く、今の支払い金額より増える。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・今、説明があったような状況である。今年度の確保維持改善計画についての議論である。30年の計画であって、29年の今まさにやっている計画の中では、各路線に関していろいろ検討するという項目は入れてなかったか。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・検討する。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・検討するということにあるので、おっしゃられたようなことは課題として事務局もわかっている、検討していくということになっている。 ・利便性と所要時間を短縮するということと費用の兼ね合いというがあるので難しいところはある。 ・弥富の場合、確保維持改善計画の中の目標として通勤・通学と謳うからには、出されたような課題に対してある程度応えていく必要がある。もしできないのであれば、目的を福祉の部分に割り切ってしまうと、通勤・通学は相手にしないという形にしてしまうという話もある。ただ、他の地域を見てみると、通勤は対象としていないが通学はやっぱり大事だということで通学を重視しているところもある。ある高校の始業時間に合わせて1便走らせるといったことはやられている例はある。検討していくということをお願いする。 ・他によろしいか。 |
| 福田委員 (民生委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・今のお話と重複する部分があるかと思うが、帰りはそれぞれ違うと思うが、乗られる方の多い時間帯を教えてください。 ・利用客の2月の定期券が他の月に比べるとずいぶん多いが、何か問題があるのか。 ・先ほど通勤・通学とおっしゃったが、私の方に上がってきた意見は、駅前を見てもらうと塾がいっぱいある。夜やっているの、鍋田の方から塾へ行こうとすると明るいうちに送っていくのはいいが、帰る時は暗くなっている。弥富駅からの最終バスの時間帯をもう少し考えていただけないかという意見があった。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別のこういった意見も会議で委員から出された意見ということで、検討のひとつのヒントとなるので、事務局で控えておいていただきたい。 |
| 杉本委員 (愛知運輸支局) | <ul style="list-style-type: none"> ・確保維持改善計画の関係について、一言お詫びをさせていただく。補助金の交付要綱に基づいて計画の策定をしていただいている。補助金の交付要綱の今年度の部分が、本来であれば4月の頭には確定をしなければいけなかったが、交付要綱の確定が非常に遅れて、6月9日にやっと確定した次第である。本来であれば、改善計画の中の「表1」などある程度(案) |

| | |
|------|---|
| | <p>としてご提出をいただくような形だったけど、遅れに遅れたということで「表1」についても支局と事務局で調整をさせていただいている状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来であれば、交付要綱の中で改善計画の提出期限があり、6月30日（明日）までにご提出をするという規定があるが、遅れたということがあり、提出期限が今年度に限って8月30日まで猶予がある。そうは言っても、早め早めにご調整をいただいでご提出をいただくようお願いしたい。 ・改善計画の項目については、交付要綱に基づいて記載をさせていただいている。ひとつ追加になっているところがある。2ページ目の「3.地域公共交通確保維持事業に係る目標を達するために行う事業及びその実施主体」というところである。この項目が新たに追加されている。目標・効果とその後の網計画もそうだが、計画をつくったら皆さんでしっかり評価をして次につなげていく必要がある。改善計画についても国の補助金を使っているから、この後に評価をするという状況になる。その前に目標をつくってもどういう目標に向けて皆さんやるかということで、これまで記載はなかったが、この事業及びその実施主体を記載させていただくことが新たに加わった。 ・もうひとつ大きな要点として、「5.地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者」とあるが、以前は費用の総額と補助額というのにもここに記載をさせていただくという話があった。なぜかと言うと、計画に基づいた費用、あるいは補助額を計画でご提出いただく。その計画を国で認定をして、この補助額がいいかどうかを審査をして、補助額自体を内定するという作業があった。平成30年度からは計画に基づく支払いを実績値に基づいて支払いをするという点が変更になる。したがって、計画において補助額の内定という作業もしなくなったということで、5番については費用の負担者のみ書いていただくことになった。実際にかかった費用に基づいて算出した補助額をお支払いをするということに変更になっている。 ・年度の扱いについては、なぜ10月～9月かと言うと、国の関係年度も4月～3月ということになる。例えば、30年度となると、30年4月～31年3月までにかかった費用を支払いすることになるので、これがもし4月～3月という年度で支払いをするとなると、3月終わって4月の1ヶ月足らずの間で書類を出していただいで、それに基づいて審査をしてお支払いをするという非常にタイトな時間になる。そういったこともあり、半年前倒しをして29年10月～30年9月といった1年間でもって、計画に基づいた運行に関して30年度の予算でお支払いをするという作業を進めることでご理解いただきたい。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ただ今、補足的な説明をさせていただいた。よろしいか。 ・すべてのルート of 具体的な課題とか、それに対する対策案は今後検討していく。 ・平成30年度地域公共交通確保維持改善計画（案）に関して、ご審議いた |

| | |
|------|--|
| | だきたい。この計画（案）をご承認いただける方は挙手をお願いします。 |
| 委員一同 | (異議なし)《承認》 |
| 山崎議長 | ・ご承認いただいた。提出が8月末だが、なるべく早く調整をして提出の手続きをしていただきたい。 |

3.議題

(4) 利用者実態調査について

| | |
|-------------|--|
| 山崎議長 | ・議題（4）利用者実態調査について、事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 (久野) | <p>○資料 4 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者実態調査について資料 4 を基に説明する。 ・地域公共交通確保維持改善計画検討や改善内容検討のための基礎資料とするため、昨年度に引き続き、今年度においても利用者実態調査として、乗車人員調査及び OD 調査を実施する。 ・「乗車人員調査」については、実証運行期間中、毎日、乗車人数を調査する。 ・「OD 調査」については、資料では 7 月上旬としておりますが、7 月 3 日（月曜日）から 8 日（土曜日）までの 1 週間、調査を実施する予定となっているので、この期間にきんちゃんバスをご利用の際には、是非ともご協力をお願いします。 ・2 ページ目以降では、参考に平成 24 年度から平成 28 年度の乗車人員の推移を整理している。 ・年度別に線を色分けしており、赤色の線が昨年平成 28 年度の値となっている。 ・平成 28 年度の総乗車人員は 76,276 人と平成 27 年度に続き 7 万人を突破している。 ・3 ページ目にはルート別に乗車人員の推移を示している。 ・また、4 ページ目では、上側の表で、4 月 3 月期における一日平均乗車人員、下側の表で一便あたり平均乗車人員を年度別に整理している。 ・これを見ると、日平均乗車人員、一便あたり平均乗車人員ともに全ルートで、前年度よりも増加していることが分かると思う。 ・5 ページ目には確保維持改善事業の事業年度に合わせ、10 月～9 月期において整理した表となっている。 ・これを見ると、日平均乗車人員、一便あたり平均乗車便員ともに南部ルートを除くルートで、前年度よりも増加していることが分かると思う。 ・また、6 ページ目からは、今年度の OD 調査票のサンプルとなっている。 ・昨年の協議会において、目的地に行く際にきんちゃんバスを利用しているのか、帰りに利用しているのかもわかると良いというご意見をいただいていたので、今年度の調査では、利用目的を「行き」「帰り」別に分かるように修正をしている。 ・なお、実際の調査票はシール形式となっており、選択肢のシールをはがして、右側の太枠の中の破線の回答欄に貼っていただく形にしている。 ・また、これまでも同様の方法をとっており、毎年 90%以上の高い回収率 |

| | |
|---------------------|---|
| | <p>を維持しているのので、今年度も同様の方法を取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上で、説明を終わる。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者実態調査に関しては協議会が実施する計画の中で、既に実施することは承認いただいている。今日、このような調査票で実施することが報告された。これまで毎年、シール形式の調査票を使ってやっている。少し改善をしたと報告があった。これに関して、何かご意見、ご質問等あればお願いします。 |
| 福田委員 (民生委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・時間帯は書かないのか。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・時間帯はいかがか。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・この中には時間帯は入れていないが、一番右上を見ていただくと、何月何日何便と書いてある。この部分に何便と書く欄があるので、これを見ると何時の便、例えば北部ルートは何便というのがわかる。 |
| 福田委員 (民生委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・了解である。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・便がわかるので大丈夫である。 ・他にいかがか。 |
| 杉本委員 (愛知運輸支局) | <ul style="list-style-type: none"> ・今のご意見は非常に良いと思う。 ・その方がこの便は何便かというのを理解されるかどうかというのが重要なので、時刻表を載せるとか、どういう形でやるかというのをご説明いただきたい。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・これは運転手自身が何日の何便と間違いなく書き入れ、集計結果に出させていただいているので大丈夫である。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・運転手は負担がかかってしまうということだが、大丈夫か。 |
| 楠委員 (交通運輸産業労働組合) | <ul style="list-style-type: none"> ・実は、1便ずつ分けてあって、その都度運行が終了次第、そこに何便と書かせていただいている。利用者に何便と言われてもわからないと思うので、こちらで書かせていただく。このままで大丈夫だと思う。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・運転手が一番大事なのは安全な運行なので、あまり負担をかけてしまってはいけませんが、この調査の期間だけよろしくをお願いします。 ・他にいかがか。 ・よろしいか。この形で調査を実施するという報告である。調査に向けて安全に気を配りながらお願いしたい。 |

3.議題

(5) モニタリング調査について

| | |
|-------------|---|
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・議題 (5) モニタリング調査について、事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 (久野) | <p>○資料5説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査について資料5を基に説明する。 ・先ほどの利用実態調査同様に、昨年度に引き続き、今年度においてもモニタリング調査として、きんちゃんバス利用者を対象としたアンケート調査を実施する。 ・調査は、きんちゃんバス利用者500名に配布する予定である。 |

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期としては、9月中旬ごろに実施する予定である。 ・内容として、次のページより整理している。 ・「きんちゃんバスに関するアンケート調査、ご協力をお願いします！」と書いてある、裏表1枚が頭紙となっており、裏面に、啓発や利用促進を兼ねて、お得な情報やサイクル&バスライド駐輪場の情報を記載している。 ・また、この紙は対象者の手元に残るように、アンケート票とは別に分けて印刷する。 ・次のページからアンケートの内容となっている。 ・右上に「利用者アンケート票」と小さく書いてあるアンケートをご覧ください。 ・アンケートは問1～11までの設問で構成しており、昨年度実施した調査とほぼ同様の内容となっている。 ・1ページ目では問1で対象者の属性を把握する。 ・問2で利用ルート、問3で利用頻度、問4で利用目的を把握する。 ・次のページに移り、問5では割引制度の利用状況、問6ではきんちゃんバスの満足度を把握するものとなっており、不満な理由についても書いていただく内容となっている。 ・この問6の回答結果は、網形成計画や確保維持改善事業の目標として掲げている「総合的満足度の向上」の評価指標として活用するものである。 ・問7では、サイクル&バスライド駐輪場の認知度や利用状況、次のページに移り、問8では、きんちゃんバスの利用頻度の変化について把握する。 ・問9では、東部ルートの「善太橋西」と「亀ヶ地」バス停における、飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ状況や評価を把握する。 ・次のページに移り、問10では自宅とバス停との距離関係を、次のページの間11では市の費用負担と利便性の関係の意向について把握する。 ・なお、この問11においては、昨年は <ol style="list-style-type: none"> 1. 便利にするためには、費用がかかってもかまわない 2. 今のままでよい 3. 不便になったとしても、費用は減らすべきだ 4. わからない の4つの選択肢で構成していたが、協議会において「4. わからない」が何が分からないのかが分かりにくい、選択肢が分かりにくいなどの御意見をいただいていたので、今年度においては <ol style="list-style-type: none"> 1. 市の負担費用を増やしても運行本数などを充実すべき 2. 現状の費用負担で運行を維持すべき 3. 市の費用負担を減らし、運行本数等のサービスを縮小すべき 4. 費用が減っても増えてもどちらでもよい と、少し具体的に記述するように修正している。まだ、こちらには書いていないが、「4. 費用が減っても増えてもどちらでもよい」の後ろにもう少しわかりやすくなるように括弧をつけて、(よくわからない)という言葉を入れさせていただいて、費用が減っても増えてもどちらでもよい |
|--|---|

| | |
|----------------|--|
| | <p>ではなく、減ったらどうなのか、増えたらどうなのかもそれもよくわからないという方も答えられるように4番の後ろに付け加えようかと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上で、説明を終わる。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング調査、要は利用者のアンケート調査に関して、ご意見、ご質問等あればお願いします。 |
| 福田委員 (民生委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・乗る人は市がどれだけ負担しているのか知っているのか。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・大事なことをおっしゃられた。市の費用負担を利用者の方々にご存知かどうかということだが事務局いかがか。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の協議会についても、今までの協議会についてもすべての資料はホームページ上にはあげさせていただいている。ただ、市がいくら負担している、どれだけの支出があってどれだけの収入があるというのは特に出していないので、見ていただければわかるのだが、こちらから発信というのはしていない。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・なかなか難しいところである。 |
| 服部市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・大変難しいご質問をいただき感謝する。 ・費用対効果から言うと大変厳しい状況というのが見ていただける。我々としては、もちろん費用対効果は行政の仕事なので上がっていかないといけませんが、主たる目的のひとつとして市民の足という形で利便性を確保していきたいというところに最大の目的がある。中身の改善については各委員の皆さまからご意見をいただきながら改善をしていく。当面の間、具体的な数字を市民の皆さまに公表するという事は避けていきたいと思っている。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・それは市側の方針ということである。確かにはっきりといくらかかっていると示すような自治体もあれば、それはちょっと出さないほうがいだろうというような自治体もあって、それは行政側の判断かと思う。どちらがいいとは言いきれない。下手に数字を出すことで、バスをやめてしまえという意見が出てきかねないこともある。ただ、バスを走らせるにはお金がかかるということは市民の皆さんには認識していただきたい。 ・他にいかがか。 |
| 佐野委員 (公募委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・バスをもっと小さくすることはできないのか、という意見を聞いたことがある。小さくするにはまたつくらないといけないし、結構お金がかかっていると言うが皆さんの認識がどこまであるか。もう少し広報が何かでやわらかくPRしていただけたら浸透するかと思う。 |
| 服部市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・当初、平成22年からスタートする時には、それまでは福祉バスという形で使っていた。それが利用できるものについては利用していこうということであった。低床バスというか乗り降りしていただく時において安全性を確保していかなければいけないことがあり、それに適していないものについては買い替えていこうということで、今で言うきんちゃんバス2 |

| | |
|------------------|---|
| | <p>台の購入をさせていただいた。正直申し上げて、当初の目的からすると空気を運んでいるのではないかといろいろご批判をいただいた。今後、買い替える時、あるいはそういったような状況においてはしっかりと精査していかなければならない。当面は今のバスを運行していきたいと思っている。よろしく願います。</p> |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・買い替えのタイミングで考えていかないといけない。 ・他にいかがか。 |
| 杉本委員 (愛知運輸支局) | <ul style="list-style-type: none"> ・ひとつ確認である。モニタリング調査のところ、あわせて利用促進(情報提供)も実施するという部分が資料の裏面のところにあたるのか、別途で何か情報提供するものがあるのか、教えていただきたい。 ・こういった調査は非常に重要である。市の状況というのもお知らせする絶好の機会にもなる。どういった情報を伝えるか教えていただきたい。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供というのは、先ほど言っていた一番頭の裏面の回数券・定期券と駐輪場の情報提供という形でやらせていただいている。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートとあわせて行う情報提供はこの資料1枚ということである。 ・先ほど、佐野さんからのご意見をよく考えてみると、市民の皆さんはあまり理解していないということである。バスにどれだけお金がかかっているのかとか、大型バスを小さいのに替えればお金はかからないだろうと言われることとか、そういったことはアンケートで情報提供すると大変である。これは利用者アンケートなので市民の方々にきんちゃんバスはどんなバスなのかというようなリーフレットか何かを作るとおもしろいかもしれない。広報に挟んで全戸配布するというやり方もあるけど、見てくれる人、見てくれない人、すぐ捨てちゃう人がいる。子どもを使うと結構効果がある。全戸配布もいいけど、バスの秘密とか子ども向けの資料を作って学校で配布してもらって、親に話してくれるということが結構効果があると言われている。そういう資料作りも利用促進の一環として今後考えていくのもいいかと思う。 ・他にいかがか。 ・よろしいか。この調査は実施するという事は事業計画の中で決めている。調査内容に関しては、今日ご提示していただいた案でよろしいかということだが、少し時間があるということなので事務局で修正する時間はある。もし、アンケートでこういう設問を作ったほうがいいのではないかとか、これはわかりにくいという意見があれば、事務局に意見を寄せていただければと思う。いつ頃までにするか。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・7月中までなら何とか間に合う。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・了解である。7月中ということで、もしご意見があれば事務局に連絡いただきたい。あとは事務局で修正していただく。 |

3.議題

(6) 無料お試し乗車券について

| | |
|------|--|
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・議題(6) 無料お試し乗車券について、事務局より説明をお願いする。 |
| 事務局 | ○資料6 説明 |

| | |
|----------------|--|
| (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・無料お試し乗車券の配布について資料 6 を基に説明する。 ・これまで 6 回にわたり実施し、利用者増の効果が認められた無料お試し乗車券の配布について、今年度も実施する。 ・配布対象は昨年度と同様に、市内全世帯に加え、小学生にも配布することを考えている。 ・これは、利用可能期間を 8 月 1 日から 31 日までの夏休み期間としていることから親子での利用機会も創出することを狙っている。 ・また、この裏面、2 ページ目に、昨年度実施した際のお試し無料乗車券、その次のページの表裏が今年度のサンプルとなる。 ・おもて面では啓発を目的とした文言を記載し、うら面には簡単なアンケートを記載して、回答を無料乗車の利用条件としている。 ・ここで、昨年度の協議会において「無料お試し乗車券を通じて初めてきんちゃんバスを利用した方の、今後の利用意向を把握できないか」というご意見をいただいていた。 ・また、2 ページ目の下側の図の青い破線の中にあるように、昨年度の Q6 においては乗車、乗車バス停を記述していただく設問としていたが、これまでも OD 調査結果と無料お試し乗車券における乗車、降車バス停の利用傾向に大きな差が生じてこなかった点も踏まえ、今後の利用意向を回答していただく設問に変更をしている。 ・以上で、説明を終わる。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・無料お試し乗車券について、ご意見、ご質問等あればお願いします。 |
| 福田委員 (民生委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・イベントがあつてそこへ行きたいなということを催したり、夏休み中なので野鳥園で観鳥会をしたり、夏休みの宿題の完成ができるようなイベントをしたら家族で行くのではないか。ちょうど夏休みの期間中なので家族で楽しめるようなイベントがあるとよい。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・事務局、いかがか。 |
| 事務局 (久野) | <ul style="list-style-type: none"> ・すぐお答えすることができないので、今後協議会の中で考えさせていただきます。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い提案だと思う。バスに乗れと言われても目的がないと乗れない。目的があつて初めて交通である。観光関連の部署と連携しながらそういうことも考える必要がある。ご検討いただきたい。 |
| 佐野委員 (公募委員) | <ul style="list-style-type: none"> ・私事で申し訳ないが、以前に日光川下流浄化センターに勤めていた。夏休みに子どもを対象に水の実験が毎年ある。確か7月20日過ぎにあったかと思う。いこいの里までバスは行っているが、歩けばすぐ東側である。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・既存のイベントであれば、あとはPR次第である。きんちゃんバスで出かけようということで何か連携させることはできる。 |
| 服部市長 | <ul style="list-style-type: none"> ・とても良い意見をいただいた。例えば、八穂クリーンセンターでごみの焼却に対する子どもさんの社会的な勉強であるとか、あるいは浄化センターで公共下水の取り扱いであるとか、そういった施設もあるので子どもたちに認識してもらえると我々としても非常にありがたい。無料乗車券の中で社会見学をしていただくことは良いかと思う。 |

| | |
|------|---|
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・気をつけていただきたいのは、無料の券があるし、イベントがあるというのを子どもたちに流した時に、単発のある1日だけのイベントだったりするとみんなが集中してしまうこともある。そうすると増車したり、何か対応をする必要もあるので、気をつけていただきたい。 ・他にいかがか。 ・よろしいか。無料お試し乗車券については運賃にも関わることであるので、実施の審議をしていただきたい。無料お試し乗車券に関して、中身については事務局でもし修正するところがあれば修正していただく。ご承認いただける方は挙手をお願いする。 |
| 委員一同 | (異議なし)《承認》 |
| 山崎議長 | ・ご承認いただいた。それでは準備を進めていただきたいと思う。 |

3.議題

(7) その他

| | |
|------------------|---|
| 山崎議長 | ・議題(7)その他について、事務局から何かあるか。 |
| 事務局 (伊藤) | ・愛知県振興部交通対策課 塚崎様より連絡があるので、よろしく願います。 |
| 塚崎委員 (交通対策課) | ○資料「エコモビ推進表彰」説明 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・昨年も塚崎さんから昨年度のエコモビ推進表彰の説明をいただいた時に無料お試し乗車券の取り組みはこれに合うのではないかとお話をしたが、今年こそ応募しましょう。検討していきましょう。事務局、よろしく願います。 ・全体を通して、何かご意見があれば願います。 |
| 杉本委員 (愛知運輸支局) | ・資料の提出の関係でいろんな実態の情報提供の場にもなる。先ほどご意見の中で、バス停の利用状況のご質問もあったかと思う。非常に細かい資料になってくるかもしれないが、例えばベスト5の停留所やワースト5の停留所の情報等細かいものを出していただくと気づく点もある。他の協議会ではすべての停留所の情報もオープンに出されているところもある。事務局としては大変な作業になるかと思うが、資料を基に意見交換ができれば良いものになっていくと思う。ご検討いただきたい。 |
| 山崎議長 | ・次回は利用実態調査のあとになり、そういった数字も出てくる。 |
| 事務局 (久野) | ・10月頃には、おっしゃられたようなバス停ごとの利用者人員が出るのでよろしく願います。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・他にいかがか。 ・市民代表で今回初めて参加されている岡村区長会長さんと三矢福寿会会長さん、一言ずつ願います。感想でも何でも結構である。 |
| 岡村委員 (区長会長) | ・福祉バスとしての役割なのか、公共としてのバスなのかということによって、両方満たすにはかなりのコストもかかってくる。朝と夕方の時間帯は通勤・通学、特に通学。昼間は福祉を重点においたダイヤやルートを検討し利用者を増やしていくことがこの地域では大切である。 |
| 三矢委員 | ・僕自身も75歳以上のパスをもらってから8年ぐらいになる。一度も乗せ |

| | |
|-------------|---|
| (福寿会連合会) | <p>ていただいたことはない。自分で自家用車を持っていれば普通は乗らない場合が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥富のきんちゃんバスと木曾岬から来るバスを見ていると、弥富の方は数字通り少ない。どうしてかと前に考えたこともあったが、弥富の南や北の端の方はともかくとして、全体的に弥富は半分都市で半分田舎という気がする。車を利用させていただいている者から見れば、バスは今のところはあまり必要を感じない。これからどうなるかわからないが、免許の更新で認知症等で返納という強い指導でもあればお世話になることがあると思う。そういう意味で弥富は、半分便利のいい場所であり、半分便利の悪い場所である。便利のいい地域に住んでいる人たちというのは、あまりバスを利用していないのではないかと思う。いろんな意味で、車を利用されている場所など考えると弥富がいわゆる田舎であるというひとつの面でもある。勝手に言葉を選ばずに言わせていただくなら中途半端な状態なので、いろんな意味で相当の経費を市からも出しているというので、公共の交通ということでより発展していただきたいと思う。そのためにも利用者を増やしていかないといけないと考えている。 |
| 山崎議長 | <ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体は中途半端である。名古屋の大都市以外は同じような状況かと思う。ぜひ乗っていただきたい。免許を取り上げられてからだとはっきり言ってバスに乗れない。車に乗れなくなったらバスに乗れない。車に乗れるうちに一度バスに乗っていただきたい。 ・女性よりも男性の方がバスに乗りたがらない傾向がある。確かに不便な面はあるが、時間を考えて目的をはっきりさせて使えば何とかできるかと思う。 ・議題はこれですべてである。 ・事務局にマイクを返す。 |
| 事務局 (伊藤) | <ul style="list-style-type: none"> ・次回、第2回協議会は10月頃を予定している。日程が決まり次第、ご案内させていただくので、よろしく願います。 ・以上をもって、第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。 |
| | 以上 |